

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年5月14日(2015.5.14)

【公表番号】特表2014-509821(P2014-509821A)

【公表日】平成26年4月21日(2014.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2014-020

【出願番号】特願2014-502838(P2014-502838)

【国際特許分類】

H 04 L 12/28 (2006.01)

【F I】

H 04 L 12/28 200 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月27日(2015.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1のオーディオ／ビデオ(AV)装置と第2のAV装置とを接続する制御回路により

、前記第1のAV装置を検出するステップと、

前記第1のAV装置と前記第2のAV装置とを接続するコネクタのチャネルへ第1の供給電圧が供給されているか否かを判定するステップと、

前記コネクタのチャネルへ前記第1の供給電圧が供給されていると判定されたことに応じて、デフォルトの動作モードであるAVシンク動作モードで前記第1のAV装置が動作するように、前記第1のAV装置の通信論理回路を設定するステップと、

前記コネクタのチャネルへ前記第1の供給電圧が供給されていないと判定されたことに応じて、前記AVシンク動作モードからAVソース動作モードに遷移するように前記第1のAV装置の通信論理回路を設定するステップと、を有し、

前記AVシンク動作モードの前記第1のAV装置は、前記コネクタを介して前記第1のAV装置に提供されるAVデータを受け取り、かつ前記コネクタのチャネルにおいて前記第1の供給電圧から電力を受け取り、

前記AVソース動作モードの前記第1のAV装置は、前記コネクタを介してAVデータを送信し、かつ前記コネクタのチャネルに第2の供給電圧を供給する、
ことを特徴とする方法。

【請求項2】

前記デフォルトの動作モードは、高品位マルチメディアインターフェイス規格に従う通信のためのものである、

ことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記AVソース動作モードにおいて、前記コネクタのデータチャネルに第1のインピーダンスが与えられ、

前記AVシンク動作モードにおいて、前記データチャネルに前記第1のインピーダンスが与えられない、

ことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記第1のAV装置と前記第2のAV装置との間でAVデータ交換を行うステップをさ

らに含む、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記 A V データ交換後に、前記第 1 の A V 装置における接続の変化を検出するステップと、

前記検出された前記接続の変化に応じて、前記通信論理回路を前記 A V シンク動作モードにするステップと、

をさらに含むことを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

オーディオ / ビデオ (A V) 装置であって、

コネクタに結合する通信論理回路を備え、該通信論理回路は、

前記通信論理回路が前記コネクタにおいて該 A V 装置に提供される A V データを受け取り、かつ前記通信論理回路が前記コネクタのチャネルを介して該 A V 装置に供給される第 1 の供給電圧から電力を受け取る A V シンク動作モードと、

前記通信論理回路が前記コネクタを介して該 A V 装置から A V データを送信し、かつ前記通信論理回路が前記コネクタのチャネルに第 2 の供給電圧を供給する A V ソース動作モードと、

を実装するように構成された回路を含み、

該 A V 装置はさらに制御論理回路を備え、該制御論理回路は、

前記コネクタのチャネルへ前記第 1 の供給電圧が供給されていることを検出したことに応じて、該 A V 装置がデフォルトの動作モードである前記 A V シンク動作モードで動作するように前記通信論理回路を設定し、

前記コネクタのチャネルへ前記第 1 の供給電圧が供給されていないことを検出したことに応じて、該 A V 装置が前記 A V シンク動作モードから前記 A V ソース動作モードに遷移するように前記通信論理回路を設定する、
ことを特徴とする装置。

【請求項 7】

前記デフォルトの動作モードは、高品位マルチメディアインターフェイス規格に従う通信のためのものである、

ことを特徴とする請求項 6 に記載の装置。

【請求項 8】

前記 A V ソース動作モードにおいて、前記通信論理回路が前記コネクタのデータチャネルに第 1 のインピーダンスを与える、

前記 A V シンク動作モードにおいて、前記通信論理回路が前記データチャネルに前記第 1 のインピーダンスを与えない、

ことを特徴とする請求項 6 に記載の装置。

【請求項 9】

前記通信論理回路が前記デフォルトの動作モードにある間に、前記コネクタを介した該 A V 装置と別の A V 装置との接続を検出する検出器論理回路をさらに備え、

前記通信論理回路はさらに、前記接続の検出に応じて、前記別の A V 装置との A V データ交換を行う、

ことを特徴とする請求項 6 に記載の装置。

【請求項 10】

システムであって、

コネクタと、

前記コネクタに接続された通信論理回路と、

を備え、前記通信論理回路は、

前記通信論理回路が前記コネクタにおいて該システムに提供されるオーディオ / ビデオ (A V) データを受け取り、かつ前記通信論理回路が前記コネクタのチャネルにおいて前記システムに供給される第 1 の供給電圧から電力を受け取る A V シンク動作モードと、

前記通信論理回路が前記コネクタを介して該システムから A V データを送信し、かつ前記通信論理回路が前記コネクタのチャネルに第 2 の供給電圧を供給する A V ソース動作モードと、

を実装するように構成された回路を含み、

該システムはさらに制御論理回路を備え、該制御論理回路は、

前記コネクタのチャネルへ前記第 1 の供給電圧が供給されていることを検出したことに応じて、該システムがデフォルトの動作モードである前記 A V シンク動作モードで動作するように前記通信論理回路を設定し、

前記コネクタのチャネルへ前記第 1 の供給電圧が供給されていないことを検出したことに応じて、該システムが前記 A V シンク動作モードから前記 A V ソース動作モードに遷移するように前記通信論理回路を設定する、

ことを特徴とするシステム。

【請求項 1 1】

前記通信論理回路が前記デフォルトの動作モードにある間に、前記コネクタを介した該システムと A V 装置との接続を検出する検出器論理回路をさらに備え、

前記通信論理回路はさらに、前記接続の検出に応じて、前記 A V 装置との A V データ交換を行う、

ことを特徴とする請求項 1 0 に記載のシステム。

【請求項 1 2】

前記検出器論理回路はさらに、前記 A V データ交換後に、前記接続の変化を検出し、

前記制御論理回路はさらに、前記検出された接続の変化に応じて、前記通信論理回路を前記 A V シンク動作モードにする、

ことを特徴とする請求項 1 1 に記載のシステム。